

# 県立弘前第二養護学校 学校概要

## はじめに

青森県内には視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱の各障害に対応する特別支援学校が21校あり、うち肢体不自由を対象とする特別支援学校は3校です。また、近年、知的障害と肢体不自由の両方を対象とする特別支援学校は4校（青森第一高等、むつ、七戸、森田の各特別支援学校）となっています。

本校は肢体不自由のある児童生徒が対象の学校で、創立36年目を迎えました。

「青森県立さわらび療育福祉センター」（以下センターと表記）と隣接しており、学校と渡り廊下で繋がっています。保護者の方は、お子さんに治療（理学療法や言語聴覚療法）を受けさせながら本校の教育を受けさせることができる環境にあります。

現在在籍している児童生徒の状況は、肢体不自由と知的障害のほかに視覚、聴覚障害など、一人が二つ以上の障害を有し、また、障害の程度が重い児童生徒がほとんどですが、小学校、中学校及び高等学校に準ずる教育を行う教育課程も整備しています。

このほかに、現在の在籍はありませんが、障害の状況により学校に登校することが困難な児童生徒には、教師が家庭に出かけて授業を行う『訪問による指導』にも対応します。

## 1 児童生徒数等

2018.4.1現在

学 部	在籍数（人）	学級数	備 考
小学部	10	5	自宅からの通学生 登下校は保護者送迎又は施設の送迎サービス（日中一時支援事業所）利用 医療的ケア対象児童4名
中学部	7	3	” 医療的ケア対象生徒1名
高等部	6	各学年1	隣接施設入所生1名、ほかは自宅からの通学生 登下校は保護者送迎又は施設の送迎サービス（日中一時支援事業所）利用
計	23	11	

(1) 医療的ケアが必要な児童生徒（5人）……経管栄養、たんの吸引

(2) 食事に配慮が必要な児童生徒……摂食・嚥下障害

食形態は、経管栄養、初期食（ペースト）、中期食、普通食  
弘前第一養護学校厨房から配食による学校給食を実施

## 2 教職員の状況（人）

臨時講師のうち2人は有看護師資格者 医ケア対応

教諭のうち1人は育児休暇、1人は大学院派遣

校長	教頭	事務長	教諭	養護教諭	臨時講師	実習教諭講師	非常勤講師	事務職員	技能主事	介助員	日々雇用給食配膳	合計
1	1	1	23	1	5	2	1	1	1	1	2	40

## 3 出身市町村別児童生徒数

学 部	弘前市	平川市	青森市	鶴田町	鱈ヶ沢町	合計
小学部	8	1	0	0	1	10
中学部	4	1	1	1	0	7
高等部	3	3	0	0	0	6
合計	15	5	0	1	1	23

#### 4 平成29年度の進路状況

学 部	卒業生	進 路 先
中学部	1 人	本校高等部
高等部	0 人	

#### 5 特色ある教育活動

(1) 日常生活の指導等の教科等を合わせた指導と、自立活動を主とした指導、通常の小・中学校の前学年の教科指導や知的障害教育の内容等、個々の実態に応じた教科学習を行っています。

- ・一人一人「**個別の指導計画**」を作成しこれに基づいた指導を行っています。
- ・社会性を培うために体験的な学習を大切にしています。

また、学習内容とねらいに応じて学習集団を弾力的に編成しているほか、児童生徒全員による全校集会（特別活動）を行っており、小学部2学年以上の児童生徒が全校縦割りのグループになり委員会（集会、放送、掲示、給食）活動を実施しています。

(2) 交流及び共同学習

自立と社会参加を目指して、積極的に交流教育を行っています。

小 学 部	弘前市立船沢小学校3、4学年と年1回実施 居住地校交流として、弘前市立三省小学校との交流を予定している児童1名
中 学 部	弘前市立船沢中学校 2学年と年1回実施 居住地校交流として、弘前市立第一中学校で本校生徒1名が個別で実施

地域との交流は、中学部及び高等部の「山郷館」（障害者支援施設）、センター利用者の方との交流を継続して行っています。

(3) 学校行事

運動会、学習発表会、社会見学、水遊び、修学旅行、宿泊学習などの行事があり児童生徒の実態に合わせて実施しています。

(4) センターとの連携

- ・授業時間の中で（授業は欠課です）、保護者の希望によりセンターで理学療法や言語聴覚訓練を受ける児童生徒が多いです。
- ・医療的ケアの実施に当たっては指導医（センター診療部長：医師）の助言指導を受けて実施しているほか、学校医としても児童生徒の健康安全等に係る協力を得ています。
- ・ケース会議や移行支援会議を実施しています。  
参加者……保護者、訓練士、指導員、利用関係施設職員、学校関係者
- ・合同会議、合同避難訓練等を実施しています。

(5) その他

- ・大学生の介護等体験やボランティア、運動会への弘前市立船沢中学校のボランティア、センターへの看護等実習生の本校見学等を積極的に受け入れています。
- ・発達相談・教育相談や学校見学は随時受け付けています。また、弘前市の障害幼児（1歳6か月）支援に当たっています。
- ・平成29年度から、ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」に取り組んでいます。